

◇8月の代禱・信施奉献先

▽日本聖公会青年活動のため(2日)▽在韓被爆者救援のため▽薬物依存リハビリ施設の働きのため▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため▽名古屋学生青年センターのため▽聖公会平和ネットワークのため

◇平和を祈る

― 主教座聖堂聖餐式 ―

日時: 8月15日(土) 13時  
場所: 聖アンデレ主教座聖堂  
司式: 大畑喜道主教  
説教: 高橋顕司祭  
主催: 主教座聖堂活動委員会

▽敗戦記念日祈禱集会

日時: 8月15日(土)  
場所: 池袋聖公会  
16時 敗戦記念日礼拝  
16時半 記念講演「戦時中の日本聖公会と合同問題」講師は竹内謙太郎司祭  
主催: 池袋聖公会

▽8・9月聖路加国際大学聖ルカ礼拝堂《夕の祈り》

①日時: 8月5日(水) 演奏者: 荻野由美子  
②日時: 9月2日(水) 演奏者: 桑山彩子  
18時半のオルガン演奏に引き続き19時から夕の祈り  
入場無料(会場献金あり)

▽8月ランチタイムパイプオルガンコンサート

①日時: 7日(金) 12時20分  
②日時: 19日(水) 12時20分  
50分  
場所: 聖パウロ教会  
演奏者: 岡田章、明治学院高等学校ハイグリー部(合唱)

▽下町聖書の会(8月)

①14日(金) 10時半  
神田キリスト教会  
場所: 神田キリスト教会  
演奏者: 大塚直哉  
いずれも入場無料

②21日(金) 19時

神愛教会  
③28日(金) 10時半  
神田キリスト教会  
学ぶ箇所は次の主日の聖書日課です。下町以外の方の参加も歓迎いたします。

▽東京聖三一教会チャリティ・ネパール震災支援コンサート

「ブルーグラスとハワイアンとピアノの夕べ」  
日時: 8月22日(土) 15時半  
場所: 聖三一教会1階ホール  
協賛金: 2千円(1ドリンク付)  
参加費: 3千円  
主催: 聖職養成委員会

▽後期 召命黙想会

日時: 10月11日(日) 12日(月・休)  
場所: イエズス会「黙想の家」  
対象者: 将来聖職への道に進みたい人、聖職の働きに関心のある人  
テーマ: 「聖書に見る召命」  
指導講師: 菅原裕治司祭  
定員: 20人(定員になり次第締切)  
申込締切: 9月14日(月)

「ブルックラスとハワイアンとピアノの夕べ」

日時: 8月22日(土) 15時半  
場所: 聖三一教会1階ホール  
協賛金: 2千円(1ドリンク付)  
参加費: 3千円  
主催: 聖職養成委員会

今週・来週の予定

8月2日~15日

2 (日)	聖霊降臨後第10主日
3 (月)	教区再編成準備室 組織再構築部会
5 (水)	東日本大震災支援対策室
9 (日)	聖霊降臨後第11主日 主教巡回 真光教会
10 (月)	教区事務所・夏期休業 (14日まで)
15 (土)	平和を祈る 主教座聖堂聖餐式 敗戦記念日祈禱集会 (池袋聖公会)

問合せ…佐々木庸司祭

(携帯…090-2063-3437)

### ◆とこしえの平安

7月27日 打田 茉莉 (79)

聖十字

### ▽奉献先紹介

「薬物依存からの回復支援施設―東京ダルク」

ダルクは1985年に東京荒川区に開設された、日本で初めての民間の薬物依存回復支援施設です。当時の薬物依存者は、犯罪者あるいは意志の弱い人間として一般的に考えられていたため、治療や支援の対象とされることは少なく、逮捕され刑務所の入出所を繰り返すか精神科病院での長期入院が唯一の居場所になっていました。そうした中、一人の薬物依存者とアルコー

ル依存からの回復者である神父との出会いがきっかけとな

り、ダルクが開設されることになりました。

ダルクは開設から今年で30年が経ち、今では薬物依存は障害の一つとして治療の対象と考えられるようになったことで、当事者活動から始まったダルクも医療機関や保健所等と連携を持った支援を提供できるようになってきました。

現在全国70か所に開設され、約千人の薬物依存者が回復に向けたプログラムを実践しています。各ダルクはそれぞれ地域の関連機関と連携をし、地域色を生かした独自のプログラムを取り入れた活動を行うことで、それぞれの地域に根差した活動を展開しています。

ダルクの活動の重要な目的の一つに、「苦しんでいる薬物依存者へ回復のメッセージを届ける」ことですが、平成18年に監獄法が刑事収容施設及び被収容者等の処遇に

関する法律に改正され、それまで治療に結びつけることが難しかった受刑者に対する薬物離脱プログラムが始まり、ダルク職員は講師として受刑者に対して「薬物依存は回復できる」と言うメッセージを届けることが出来るようになりました。それにより、今まで出所後には行き場を失って

いた薬物依存者(薬物事犯者)も出所後直ちに回復のための支援が受けられるようになりました。

また、平成10年ころより学校における「薬物乱用防止教育」の中でダルク職員が体験談を交えた講演を行うようになり、中高合わせて毎年60校以上で講演活動も行っています。

かつては犯罪者であり、地域からは厄介者とされ、また家族にも見放されていた薬物依存者がプログラムを通じて回復することが出来れば、過去の経験をも役立たせること

が出来ます。ダルクは新しい生き方をスタートさせる場所でもあります。

ダルクホーム施設長 幸田実

▽ダルク30周年記念フォーラム

日時…10月16日(金) 13時

場所…日比谷公会堂

〈夏期休業・休刊のお知らせ〉

・「教区事務所」は8月10日(月)から14日(金)まで休業いたします。

・「きょうくニュース」は8月16日号〜8月30日号まで休刊いたします。